

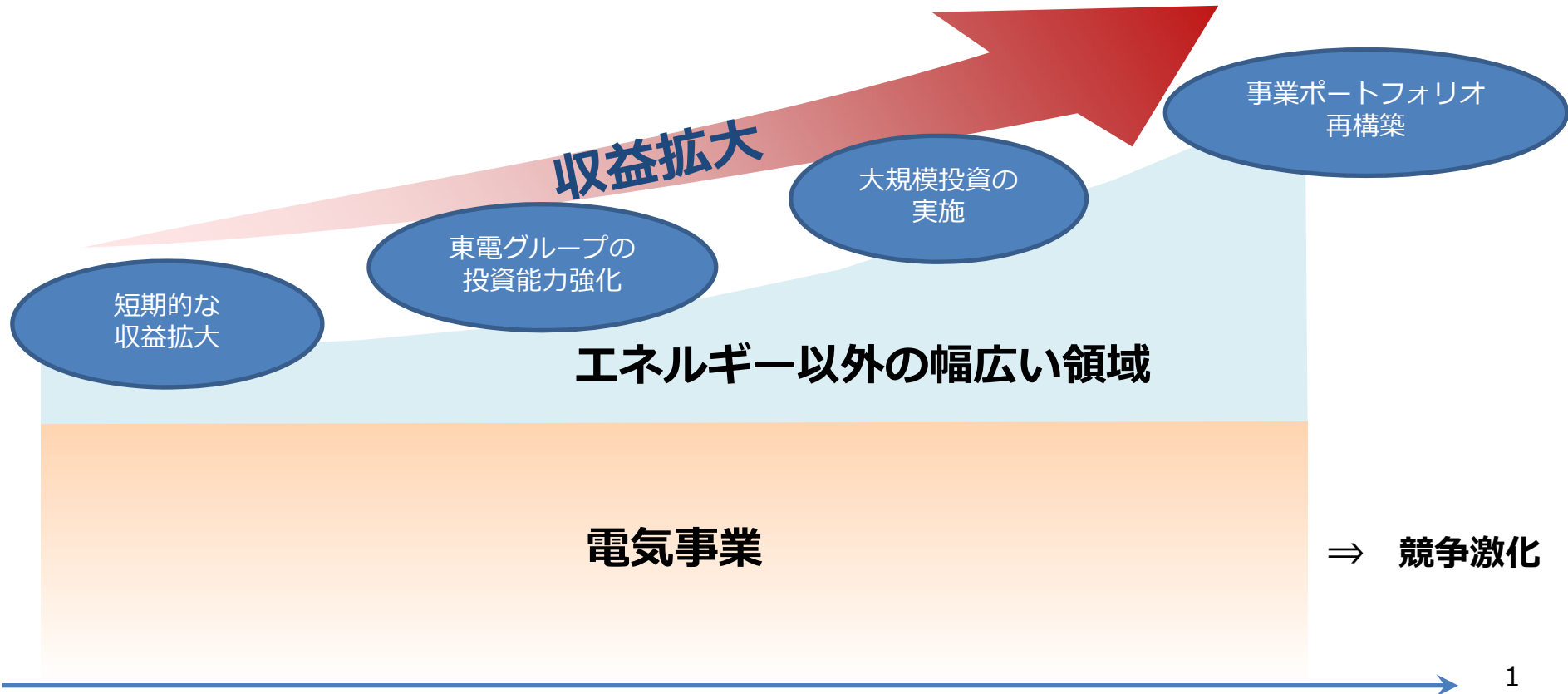
東京電力タイムレスキャピタル 運営ファンドの設立について

2021年7月1日

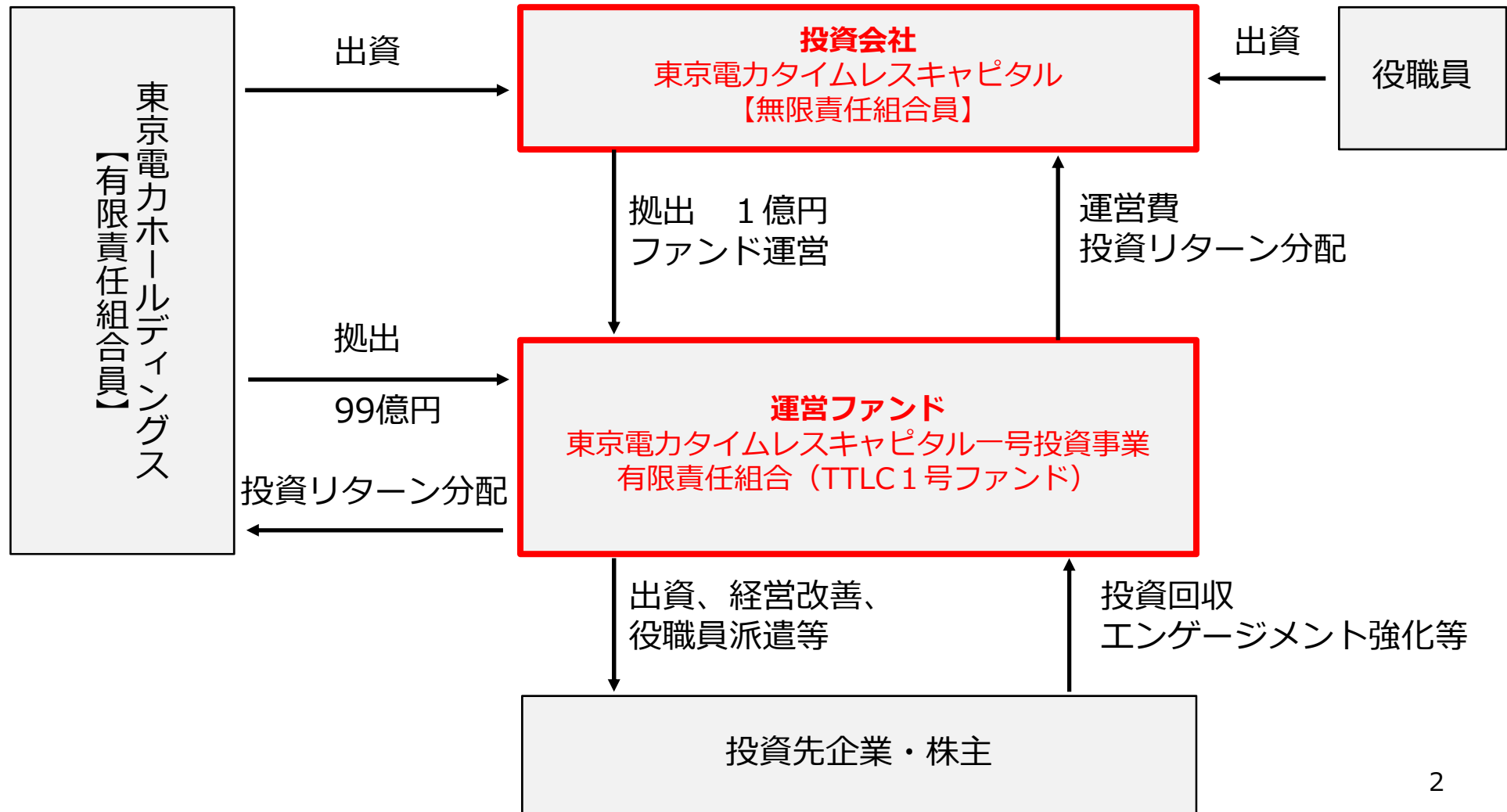


東京電力ホールディングス株式会社

- 福島の責任を果たすために「稼ぐ力」向上が急務。
- 電力事業における競争激化などの外部環境の激変を踏まえて、エネルギー分野にとらわれず、幅広い領域における収益拡大の必要性。
- 「企業投資」による短期的な収益獲得と共に、グループの投資能力を強化。将来的には、東京電力グループとしての事業ポートフォリオ再構築により企業価値向上を目指す。



- 投資会社およびその運営ファンドを設立し、企業投資を推進。
- 東京電力ホールディングスが資金提供者となり、出資約束金額は100億円。



- 「タイムレスキャピタル」とは、時代を超えた価値を提供する投資会社という意味を含めて命名。事業系投資会社として、EXITまでの短期的な利益追求に留まらず、投資先企業さまが永続的に成長できる投資を提案。
- 独立子会社化およびファンドの設立により、タイムレスキャピタル単体で迅速な投資の意思決定ができる体制を構築。
- 電気・エネルギー領域にとらわれず、日本国内を主要な事業地域とする幅広い企業に対する投資を実施。投資金額には制約を設けない。
- タイムレスキャピタル役職員の約半数を企業投資ファンドやファイナンシャルアドバイザーなどで豊富な経験を有する外部人材とし、東京電力人材との混成チームを構築。
- 東京電力グループが有するアセットや顧客基盤、提供サービスを、投資先企業さまの企業価値向上のために活用。